

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【芝川小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 算数科では各領域で課題があり、各学年で課題となる領域は異なっている。 <指導上の課題>課題のある領域では、重点的に適応問題に取り組む時間を設けているが、知識の定着に結びついていない。	⇒ 各学年で課題のある領域を確認し、児童の実態に応じた指導を行う。「ドリルパーク」「スタディサプリ」等を活用し、反復練習に力を入れる。【週に1度】 ⇒ 児童主体の授業を展開し、スクールダッシュボードのデータを活用して、成果と課題を共有する。【1か月に1度】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 算数科での課題が見えている。自身の考えに自信をもてず、他者に伝えることができていない。 <指導上の課題> 児童一人ひとりの考えを共有したり、伝えたりする機会が多く確保できていないことが課題である。	⇒ 既習を生かしながら、自身で解決方法を決め、思考し問題を解く学習をこれまで通り行っていく【単元に応じて毎時間】 ⇒ ICTを活用した協働的な学びを積極的に取り入れ、他者と対話しながら答えを導き出す活動を取り入れる【単元に応じて毎時間】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	